不祥事防止への取り組み

取手市立戸頭中学校
校　長　松戸　孝泰

教職員による不祥事は、生徒や保護者、地域住民の学校教育への信頼を著しく低下させる原因であり、なんとしても根絶しなければなりません。

そこで、本校では不祥事根絶に向けたコンプライアンスと厳正な校務執行のための教職員の意識改革や職場風土の改革をすべく、下記のように取り組んでいます。

記

１　不祥事根絶をテーマとした職員参加型の校内研修を定期的実施しています。

不祥事は、体罰、学校徴収金、交通事故、健康管理・メンタルヘルス、わいせつ、セクハラ、飲酒運転、情報漏洩等、多岐にわたります。これらの各事案について、教職員が改革意欲と未然防止を念頭に協力して防止マニュアルを作成し、すべての教職員に配付しました。また、別紙のように「コンプライアンスに係る年間研修計画」を年度当初に作成して、学校全体で取り組んでいます。

研修については、教職員主体の「ボトムアップ型研修」に限らず、法的根拠による信頼される学校の土台づくりとして管理職による「トップダウン型研修」を実施していきます。

２　管理職が不祥事関連の通知文や記事にマーカーを入れ、様々な事例を職員全体で共有しています。

不祥事の内容と対象職員の処分内容等について県教委や市教委からの通知文や記事等から、職員が自分事、自校でも起こり得ることとして置き換えられるように、具体的な防止策を職員会議や定例会議で話し合っています。配付資料については、管理職が必ずマーカーを入れて注意喚起をしています。そして、「違和感があるときには迷わず相談」を徹底しています。

３　教員評価面談・人事評価面談及び個人面談を重視し、悩み等の解決のための支援を行っています。

職員のストレスや個人的な悩み事、不安なことが不祥事の遠因にならないよう、管理職が教員評価面談・人事評価面談や日頃の面談を通して、一緒に考え解決策を助言する傾聴姿勢を大切にしながら教職員を支援しています。また、悩みを一人で抱え込まない、安心して相談し合える同僚性と風通しの良い職場風土づくりに努めています。

戸頭中学校の合い言葉は【生徒が主役】【思いを形に】です。

教職員は、お互いを認め合い、高め合い、そして、生徒や教職員が安心して失敗することができる、何度でも挑戦することができる学校づくりを目指します。

そして、すべての教職員が一丸となって不祥事根絶に取り組みます。